わかりづらい取説は **欠陥商品** です！

- どうして探しても見つからないのか
- なぜ、わかりにくくなるのか
- なぜ、読みづらく感じるのか

その理由を知りたくありませんか？

取扱説明書制作にかかわる皆さまへ

こんにちは！
突然のお便り、失礼いたします。　**NPO セフティマネジメント協会**です。

今日は、あなたの会社にとって、とても大切なお知らせがあります。
その前に、あなたの会社の取説について質問させてください。
重要なお客さまから、取説がわかりづらい、必要な情報が見つけられない、
といった苦情はありませんか？

欠陥ってどういうこと？

もし、そのような苦情があるとすると、それはヒヤリハットです。
そのままにしておくと、ユーザーが製品を間違った使い方をしてしまって、重大な製品事故に発展するかもしれません。
情報が見つからない、わかりづらい、読みづらい･･･このような取説は、PL 法では**「欠陥」**と定義されることだってあるんです。それって、大きなリスクですよね？

よくある勘違い

 問合せや苦情があった箇所は取説に書いておけば安心

 読み手は専門家なので、今のままで問題はない

 製品がよければ、取説の良し悪しでユーザーの満足度は影響されない

ご安心ください

会社のリスクを低減するだけじゃなく、ユーザーに喜んでいただける「伝わる取説」を作るためのセミナーが。実はあるんです。
今の取説のどこに問題があるのか、それはなぜ問題なのか、どうすればよいのか？
つい、おかしてしまうミスなどの事例を紹介しながら、**120 種類のプロのノウハウ**を惜しみなく公開します。